

I 「おやこ一冊読書」について

深めよう!親子の絆

「おやこ一冊読書」

平成23年度から、鹿児島県立図書館では「おやこ一冊読書」への取組を呼びかけてきました。



「おやこ一冊読書」ってなあに？

一冊の本を親と子が一緒に読み味わう読書の方法です。

とても気に入って
何度も読んだね。



登場人物について
語り合ったね。

親と子をつなぐ宝物の一冊を



と呼んでいます。

※ 「おやこ一冊読書」の「おやこ」は、兄弟姉妹、祖父母と孫、先生などを地域の大人と子ども、友だち同士なども含みます。

あなたの宝本はなんですか？





「おやこ一冊読書」にはどんなよさがあるの？

1 親子の絆が深まります。



一緒に本を
読むことで

- 喜びや悲しみを共有したね。
- 寄り添っているお互いの温もりを感じたね。
- 物語に含まれる人の生き方や考え方を語り合ったね。
- 語り合ったことで、お互いの思いを知ったね。

2 一冊の本をじっくりと読む習慣が身に付きます。

読書というと、何冊読んだかといった冊数にばかり目が向きがちですが、一冊の本をじっくりと繰り返し読むということもまた大切です。

そういう読書の習慣を身に付けていくためにも、「おやこ一冊読書」は意義があります。



どのように取り組めばいいの？

- 読み聞かせをしてみましょう。
- 親が、子どもの頃読んだ思い出の本を薦めてみましょう。
- 子どもが読んでおもしろかったという本を、親も読んでみましょう。
- 誕生日などに本をプレゼントしてみましょう。



親子で読んで、楽しいひと時を過ごせたら…。

親子で感じたことを語り合えたら…。

子どもが繰り返しその本を持ってきて読んでほしいと言ったら…。



その本は「**宝本**」です。